いしかわ労福協

第 505 号　2010年2月25日
発行所　石川県労働者福祉協議会
発行責任者　上田弘志
編集人　宮下 亮
〒920-0024　金沢市西念3丁目3番5号
電話（076）231-1737
FAX（076）231-1731
http://www.ishikawa-rofukukyo.jp
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行
定価　一部 20円
昭和39年3月30日　第三種郵便物認可

『労福協将来構想懇談会』を設置

先の第６回理事会で設置が確認された「労福協将来構想懇談会」の第１回目の懇談会が２月 24 日（水）にフレンドパーク石川で開催した。

最初に、才田巌専務理事から「労福協、連合石川および各事業団体はそれぞれ大きな課題を抱えており、課題を共有し、今後の労福協の将来に向けて話し合うことを目的に、この懇談会を設置した」と述べ、構成員を確認したあと上田理事長を座長に選出し協議に入った。

第１回目の懇談会は、各団体から抱える課題について報告しあい、課題の共有化を図った。

◆連合石川◆

結成 20 周年を迎えて、今後の労働組合活動・連合運動をどのような形にもっていくか。労働運動は大きく方向転換する時期にあり、今後の活動転換の柱を提起する。

①社会運動（全ての労働者を対象とした）の展開。
②地域で労働運動を活性化するための人材教育。地域の加盟組織と方向性を共有。
③各地協の再編（９地協→４地協）専従事務局長が常駐。
④財政課題（組合員減、本部交付金の減）を抱える中での運動の活性化。

◆労働金庫◆

① 2012 年４月の全国統合に向けた対応
②次世代システムの構築
③店舗政策について

◆全労済◆

全労済全体としても件数、口数とも期首割れの状態であり、県本部も同様に期首割れの状況にある。将来を見通した予測においても、組合員数の減、会員数の減から厳しい現実にある。全労済財務基盤強化計画として、５年間で大幅な事業費削減を目標としている。

①本部配布予算の減少、付加掛金収入の減少など厳しい運営。支出予算の見直しを図り、安定的な予算運営を図ることが急務。
②今後の介護事業の展開見直し、会館の老朽化に伴う改修・修繕
③ 50 周年記念事業について

◆労信協◆

①新公益法人移行について
②中央労金関係５労信協の日信協への事業譲渡について
③労働金庫の全国統合の中で石川を含む６労信協の動向

◆労福協◆

①緊急サポートネットワーク事業の受託終了における各自治体へのスムーズな移行
②無料職業紹介所「ジョブいしかわ」における求人対策
③福祉基金管理委員会の運営規程の見直し
④労福協人事委員会の要綱見直し
⑤地域ライフ・サポートセンターの運営体制見直し
⑥新公益法人制度への移行
⑦労福協等の財政問題－労福協の構成団体の減少。全国労金発足以降に会費等の見直しが予定される。

●懇談会構成員

座　長	上田弘志（理事長、連合石川会長）
委　員	狩山久弥（連合石川事務局長）
委　員	嶋垣利春（北陸労金県本部長）
委　員	山口　隆（北陸労金県本部副本部長）
委　員	本田和雄（全労済県本部理事長）
委　員	水野志郎（全労済県本部専務理事）
委　員	坂本哲治（労信協理事長）
委　員	奥村寛道（労信協専務理事）
委　員	才田　巌（労福協専務理事）事務局
委　員	宮下　亮（労福協常務理事）事務局

●懇談会の位置づけ

①連合石川 20 周年を契機に、今後の労働者自主福祉事業を取り巻く環境の変化を共通認識として持ち合う。
②中長期の将来展望をふまえた「石川労福協構成団体」の抱える課題を議論する。
③早期に実行する課題、２～３年、５～ 10 年後に実行する課題を整理し、対策を検討する。
④必要により、労福協理事会に報告･提言をする。
⑤月１回の開催を原則とする。５月の総会で一定のまとめができたものは提起する。

子育て支援 いしかわ緊急サポートネットワーク

緊急サポート自治体訪問

１月13日（水）から18日（月）の４日間にかけて、県下自治体８市８町を訪問し、緊急サポートネットワーク事業の廃止にともなう新ファミリーサポートセンターへの移行について、受け皿となる各自治体を訪問し、子育て支援行政の調査と緊急サポートの円滑な移行への対応を要請した。

昨年に引き続いての訪問となったが、今回は毎年秋に労福協として行っている自治体への施策要求に対する検討状況の把握を行った。特に、緊急サポート事業が平成23年３月末で事業終了となることから、ファミリーサポート事業を実施している自治体では、①子供を預かる会員への研修内容に、子供の病気に関する知識の習得を新たに追加すること②利用者に対する金銭的な補助について要請した。

一方、ファミリーサポート事業を実施していない能登地区の自治体では、保育ママ派遣事業やシルバー人材センターの活用、また新たにファミリーサポートセンターを立ち上げる自治体も予定されている。

昨年４月に、加賀市が新ファミリーサポートセンターへ移行したが、本年４月から新たに移行する自治体はない状況にあり、来年３月の緊急サポート事業廃止まで各自治体との移行に向けての協議が続くことになる。

緊急サポート　県センター　直江圭祐

第10回サポート会員研修会

2009年度第２回サポート会員のフォローアップ研修会を、２月６日（土）午前10時から午後２時30分までフレンドパーク石川で開催した。

研修会には県内各地のサポート会員53名が出席し、熱心に講師の話に耳を傾けた。

研修会は才田巖労福協専務理事の事業の概況報告を兼ねた挨拶のあと、石川県立総合養護学校地域支援室の教諭杉江哲治氏から「発達障害のある子の理解と支援」についての講義と、午後からは石川県立中央病院副院長でいしかわ総合母子医療センター長の久保実氏から「最近の話題の感染症～新型インフルエンザを中心に～」について、それぞれ講義があり、お互いの知識を深め合った。

午前の講義は、発達障害ということで多動性や自閉症について講義があり、質問も多く出され、感心の高さを感じた。また、午後の感染症の講義も新型インフルエンザや乳幼児に多い冬の急性感染下痢症の「ノロウィルス、ロタウィルス」について話があり、症状の特徴点や二次感染を防ぐための注意点を研修した。

出席者からは多くの質問が出され、熱心に研修を受けるあまり、研修時間をオーバーするほどの盛会であった。

緊急サポート県センター　直江圭祐

（かほく市）　（津幡町）

（野々市町）　（金沢市）

―自治体に対し要請―

会員登録状況／サポート状況

2010年１月現在

地域センター	サポート会員	利用会員	サポート回数
すず	6	11	13
わじま	2	12	5
ななお	7	4	0
はくい	4	6	7
かほく	19	63	15
かなざわ	162	432	853
はくさん	38	86	17
こまつ・のみ	21	40	64
かが	0	0	0
計	259	654	974

（緊サポ・フォローアップ研修会）

労福協第６回理事会

石川労福協第６回理事会が2月16日（火）フレンドパーク石川で開催され、緊急サポートネットワーク事業関係およびライフ・サポートセンター関係の活動報告、連合石川および各事業団体報告を行った。なお、住宅生協の対応については大変重要な問題であり、引き続き、労福協と旧住宅生協役員が連携して取り組むことを確認した。

協議事項では、石川労福協第48回通常総会を５月28日に開催することや議案の骨子を確認した。また、２月27日開催の第33回石川労福協研究集会（第６回LSC代表者会議）の内容についても確認した。

第11次中国蘇州市総工会友好訪問団の派遣については、３月22日～28日にかけて蘇州市、杭州市、北京市、上海市を訪問することとし、団長は嶋垣利春副理事長、秘書長に才田巖専務理事、団員に坂本哲治理事、高芳晴監事、一明政行事務局次長の５名を派遣することを確認した。２月18日開催の中部労福協第40回定期総会には、才田巖専務理事が副会長として、代議員は宮下亮常務理事、坂本哲治理事、山口隆理事、傍聴に谷内事務局次長が出席することを確認した。さる１月26日に開催した労福協将来構想懇談会を原則月１回の開催とし、５月の定期総会には一定のまとめを提起し、それ以降も継続開催していく事を確認した。

最後に、次回第７回理事会を４月21日フレンドパーク石川で開催することを決めて終了した。

事務局日誌

開催日	曜日	会議・行事	開催場所
2月１日	月	金沢市高齢者福祉施設設備等検討会	金沢市役所
2月３日	水	ろうきん運動推進委員合同会議	片山津
2月４日	木	新公益法人：一般法人移行認可実務セミナー	大阪
2月５日	金	大阪労福協視察公益法人問題懇談	大阪
2月６日	土	緊サポ・フォローアップ研修会	フレンドパーク石川
		東北アジアの和解と平和を考える平和集会	石川県教育会館
2月12日	金	金沢市高齢者福祉施設設備等検討会	金沢市役所
2月13日	土	福祉しごとガイダンス	地場産
2月16日	火	石川労福協第6回理事会	フレンドパーク石川
2月18日	木	中部労福協第40回総会（～19日）	大阪
2月22日	月	退職準備教育研修会	東京
2月23日	火	新公益法人（会計）セミナー	富山市
2月24日	水	第2回労福協将来構想懇談会	フレンドパーク石川
		金沢勤労者福祉ＳＣ評議員会	金沢勤プラ
2月25日	木	第2回就業支援連絡会議（～26日）	沖縄県

中部労福協が40周年

北陸、東海、近畿の12府県の労福協で構成される中部労福協の第40回定期総会が２月18日に大阪市内で開かれた。

今年で結成40周年を迎えた総会には、代議員、傍聴者ら70名が出席し、2010年度の活動方針、予算を満場一致で決定した。また、役員改選では福井の馬場理事長が新会長に選ばれ、向こう２年間、福井労福協が中部労福協の事務局を担当することとなった。

総会後は、40周年記念講演として中央労福協の高橋事務局長が「労福協の理念と2020年ビジョン」と題した講演を行い、新しい時代認識を前提にした今後の労働者福祉運動と事業団体が果たす役割等について語り、労福協はこれからも人と社会のコーディネーター役となって、全国で活動を展開しようと呼びかけ講演を締めくくった。

石川県福祉人材センター

福祉しごとガイダンス

石川県と石川県社会福祉協議会の主催で２月13日（土）、石川県地場産業振興センターを会場に「福祉しごとガイダンス」が開催された。

福祉の職場に就職を希望する方に対して、職場の内容、求人の職種、勤務条件等を理解してもらい、就職及び人材確保が円滑に行われることを目的に、平成22年・平成23年度卒業予定の学生と一般求職者を対象に行われ、約100名が参加した。

41事業者がそれぞれのブースをつくり、自社の施設をプロジェクターで紹介したり、パンフレットで説明していたが、参加者は真剣に説明を聞き入っていた。参加者は、半数以上が女性であり、真新しい就活スーツを着込み、一人一人が自己紹介票を持って、希望の事業者のブースで採用担当者と面談を行っていた。

また、「コンピューター適職診断コーナー」も設置され、自分はどのような職種に適しているのかをパソコンで入力するもので、順番待ちの列ができるほどの人気があった。参加者の内、２割程は一般求職者で、中高年層の方も見られ、最近の就職難を反映して、介護事業への就職を期待して参加されたものと思うが、あらためて雇用状況の厳しさを実感した。

勤文協主催

第40回石川県勤労者早春書画・生花展

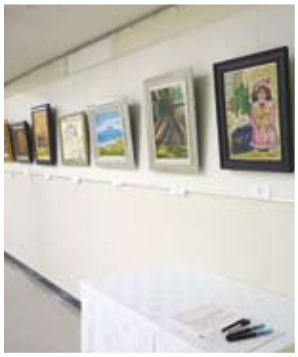
早春を彩る力作116点を展示

石川県勤労者文化協会主催、石川県労働者福祉協議会と北國新聞社が後援する「第40回石川県勤労者早春書画・生花展」は1月28日（木）から31日（日）まで、金沢市片町のラブロ片町7Fアートシアターいしかわで開催された。

会場には、日頃、創作活動に励む県内の勤労者や主婦、退職者らアマチュア作家の力作、日本画8点、洋画41点、書道61点の計116点が展示された。

また、勤文協所属の華道の草月流山田珠峰先生、中村雨光先生、小林嶺智先生と各生徒による生花25点が会場を彩った。

最終日には、同会場で日本画の下村正一顧問、洋画の杉村雄二郎清顧問、書道の氷田清風顧問、生花の山田珠峰先生による合評・総評と表彰式が行われた。



勤体協主催　第44回冬季体育大会

石川県勤労者体育協会主催の「第44回冬季体育大会」が開始された。

2月7日、金沢市中央市民体育館で開催された「卓球大会」は県内全域から107チームが出場して、硬式・ラージ各部門に熱戦が展開された。

また、2月14日にいしかわ総合スポーツセンターと白山市若宮体育館で「バスケットボール大会第1日目」が開催され、男子1組と女子1組の熱戦が展開された。今季のバスケットボール大会が昨季とほぼ同じ91チームが参加し、3月末まで各会場で白熱した戦いが続けられる。

冬季体育大会はこの後、2月21日、3月7日・21日・28日に「バスケットボール大会」、3月7日に「ソフトバレーボール大会」、3月14日に「バトミントン大会」、「3人3W卓球大会」がそれぞれ開催される。

卓球大会

【硬式】◇男子▽1組①Yu－style②ぬかく③小松卓協A▽2組①FreeStyle②档の会B③米泉く▽3組①コマツ②余喜あっちゃんズ③倉庫精練▽4組①档の会A②北陸電力③KKく

◇女子▽1組①勤体協②NOTOヤンキース花組③西南部クA▽2組①ウインズゆり②NOTOヤンキース月組③ネクサス▽3組①ウインズばら②松任わかば③ドルフィン▽4組①小松二水会②金沢サンクB③野々市く

【ラージ】◇シルバー▽男子①ななく②金沢兼六く③のときりしま、内灘く▽女子①大浦公民館②能美く③ななお、のときりしま

◇ゴールド▽男子①白山クA②同B③金沢兼六クA、能美クA▽女子①内灘クA②能美く③七尾マスターズ、金沢兼六く

バスケットボール大会

◇男子1組▽予選A①Ad★Blue②向洋チャンプル③バウンス④松本クラブ⑤馬場ちゃんず⑥STICKY・FINGERS⑦コマツラベリング▽B①中島クラブ②OVER30S③ハイテクス工業④HardyS⑤村田製作所⑥ド変隊⑦cagers

▽3位決定戦　OVER30S68－33向洋チャンプル

▽決勝　中島クラブ44－35Ad★Blue

◇女子1組▽予選A①STAR☆STAR②CHOCOLATS③FACE④AMOLATS⑤BRATZ▽B①WM②Bee③レクサスレディース④fun・mb

▽3位決定戦　Bee22－20CHOCOLATS

▽決勝　WM44－32STAR☆STAR

日本画

北國新聞社長賞
「ふしぎの夜」
谷鋪　ちづ子（金沢市）

労福協理事長賞
「白　鶴」
浅田　恵子（金沢市）

銀賞
「五箇山の晩秋」
和嶋　豊治（内灘町）

銅賞
「合掌の里」
鵜飼　俊行（かほく市）

洋　画

北國新聞社長賞
「日の出前」
星　　孝次（金沢市）

労福協理事長賞
「ある春の日」
奥野喜美子（津幡町）

金賞
「輝　き」
野水　眞琴（金沢市）

銅賞
「　梅　」
松田　泰子（白山市）

書　道

勤文協会長賞
「　和　」
山田　和子（金沢市）

北國新聞社長賞
「瑞　雪」
木戸　博子（白山市）

労福協理事長賞
「春　祺」
高田　香織（金沢市）

金賞
「遊　芸」
耕納喜美子（金沢市）

銀賞
「桃李争妍」
安居　洋子（金沢市）

地域ライフ・サポートセンターだより

白山・野々市
新春の集い

白山・野々市LSCは恒例となった「新春の集い」を1月14日（木）に白山市松任学習センターのコンサートホールで行った。当日は、悪天候にも関わらず、大勢の会員の方々がステージで繰り広げられるダンスや演奏を楽しみ、最後にお楽しみ抽選会に一喜一憂しながら、連帯感を共有した。

集いでは、地元で活躍する団体に出演をお願いし、軽快な津軽三味線の松任竹翠会の方々の演奏を挟んで、最近ブームになっている「フラダンスプリキメハナ・サチコ・フラスクール」の皆さんによる、熱のこもった演舞に拍手喝采となり、舞台と観客の一体感を深めることができた。演舞の合間に主催者としてLSCの油省三会長の挨拶、来賓として労福協の宮下亮常務理事に挨拶をいただき、本年のLSC活動のテーマとなる「地域における生涯福祉の実現を目指し、会員共助システムの確立、特に高齢化社会における豊かさと生き甲斐のある生活を推進すること」を確認し、その後話題となっている「地産地消」で地元商品を景品にして、お楽しみ抽選会が繰り広げられ、来場者の多くの人達がにこやかに景品を手にし、終了した。

白山・野々市LSC会長　油　省三

輪島・穴水
新春の集い

合同新春の集いは、2月2日（火）18時から、50名の参加者で開催された。初めに、主催者代表として上野LSC会長の挨拶から始まり、来賓の梶輪島市長および連合石川の冨瀬副事務局長から挨拶をいただき、高田市議会議員のメッセージ披露の後、園又LSC副会長の発声で乾杯し、スタートした。

それぞれのテーブルでは、輪島市長選の取り組みの話や近藤衆議院議員の組織体制の話等、政治活動に関わる話があちらこちらから聞かれた。

約1時間30分程懇談した後、山本輪島・穴水地協議長が今年3月に行われる石川県知事選挙、輪島市長選挙での勝利を誓うガンバロウ三唱で締めくくった。

輪島・穴水LSC　境　　薫

七尾・鹿島
合同役員研修会

「能登から国会議員を何としても送り出す」そんな大目標がかなった昨夏。その勢いをかって記念の七鹿地協と七尾LSCの合同役員研修会が1月29日～30日にかけて、初めて研修の形で総勢20名が近藤和也衆議院議員を訪ね、国会議事堂まで行ってきた。丁度、国会会期中でもあり、幸運にも総理をはじめ、数名の大臣まで生の施政方針演説を聞くことができた。一同緊張して聞き入る場面や、その後の国会議事堂内の案内では普段テレビでお目にかかる色々な場所を見るにつけ、我らの近藤和也衆議院議員が国政に関わられている重みも感じる事ができた。

その夜の懇親会も大変盛り上がり、次の日はそれぞれのプランで行動することができ、この貴重な経験を糧にまた明日からそれぞれの活動に励んでいきたいと、一路東京を後にした。大変有意義な研修旅行となり感謝です。

七鹿LSC事務局長　井村幸喜

河北
退職準備セミナー

1月23日（土）午後1時30分から、津幡町・サンライフ津幡の2階研修室で「退職準備セミナー」を開催した。1週間前に津幡地区の新聞折り込みで案内したもので、定年退職を間近に控えたサラリーマンを中心に約40名の参加があった。

まず主催者を代表して、山本彦隆副会長から「河北地域ライフ・サポートセンター」の目的、活動紹介を含め挨拶があった。講師の谷内美穂子（社会保険労務士）さんからは、退職後の働き方と公的年金制度、雇用保険制度の概要、継続雇用後の社会保険制度の活用について説明、解説があった。

制度には特例が設けられているものもあり、谷内さんも一度聞いた程度ではすぐ理解できない部分もあるかもしれない。分からない事は足を運んでも解明が大事だと話された。

講演後は、講師による個別相談や労金、全労済による個別相談も実施し、午後4時に終了した。

河北地域LSC事務局長　安江秀和

七尾・鹿島
2010新春旗開き

地協との連帯を深めるべく、今年も七鹿地協と七鹿LSCの2010新春旗開きが1月18日（月）に開催された。

久しぶりに会場は能登食祭市場・フィッシュ＆チップスへ飛び出し、約100名にも上る参加者の中で佐藤七鹿地協議長の挨拶の後、和やか且つ盛大に行われ、大抽選会ではその熱気もピークに達していた。また集まった一同が産別を越え、今年一年諸般の活動への心合わせ・力合わせの思いを新たにした次第であり、これからの活動への大いなる発進の場とする事ができた。皆さん、今年も団結してガンバロウ。

七鹿LSC事務局長　井村幸喜

※この機関紙は再生紙を使用しています。